

ご意見シート

次期計画策定に向けた以下質問項目について、ご意見をご記入ください。

委員氏名 _____

1. 第1期茅ヶ崎市成年後見制度利用促進基本計画のイメージについて、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

*** 現行計画に合わせてデータは資料編に集約しスリム化したもので提示させていただいております。どのような骨子だとわかりやすいかご意見ください。**

*** 中核機関の機能について市民に理解してもらえるよう計画でどこまで示すかご意見ください。**

●大項目について

・大項目の「みんなで連携して、安心してらせるまち」については、連携という言葉が団体間で使われる場合が多く、みんなが地域住民と捉えるならば、基本目標の2とかぶってしまうが、協働や協力等の言葉の方が良い。

●イラストについて

・基本目標3「みんなで連携して安心して暮らせるまち」として文章のみでなく関連するデータを差し込むこともよいのではないかと。また現状と課題を示し、目指すべき姿として具体的にイメージできるように地域連携ネットワークのイメージ図を掲載するのはいかがかと。

●中核機関について

・中核機関の機能については、コラムのような形で基本機能を簡潔に記載することと、中核機関が行う支援の流れのような図を挿入しイメージがしやすい。

●その他

・国の基本計画をそのまま持ってくるより、茅ヶ崎市で現状行われている判断能力に不安がある高齢者・障害者の市民に対する権利擁護の取組とその課題を挙げて、今後の取組を示すことが、「茅ヶ崎版後見制度利用促進計画」の特色を打ち出せる。

2. 第1回の研究会と委員会意見を踏まえて作成した成年後見制度に関するアンケート（計画本体における調査）について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

*** 成年後見制度の印象や各相談機関の認知度を図り、計画の広報・周知の部分に反映するためのアンケート項目を考えています。**

*** また、近隣の成年後見制度を必要とする人について、「自分たちの問題」として捉える市民や将来市民後見人として地域福祉に関わっていただける人がどれくらいいるのかを把握するための項目となっています。**

●問30について

・回答の「6 介護の専門家、7 法律の専門家」は抽象すぎる。

・回答を成年後見を知った場所を聞きたいのか、専門職の種別について聞きたいのかにより、回答の項目が異なる。

(裏面あり)

- ・最近では医療関係職から知ることもある。(医師 or 看護師 or MSW など)
- ・「市や社協以外のインターネット」、「新聞」なども入れた方がよい。
- ・地域包括支援センターだけが名称であり、地域包括支援センターのイベント、広報紙などを書いた方がよい。

●問 3 1 について

- ・1 「制度や手続きが煩雑で難しい」はダブルバーレルの回答となる。
「制度の理解が難しい」と「手続きが煩雑で面倒」などと分けた方がよい。
- ・出来ればプラス評価とマイナス評価の回答数を同じぐらいにするとよい。
- ・4 「できれば利用したくない」に（理由_____）を追記してほしい。

●問 3 4 について

- ・市民後見人への関心については、市民後見人として地域福祉に関わっていただける人がどれくらいいるかについてが質問の主旨であれば、市民後見人の活動やどのようにしたらなれるのかがわからないと答えにくく、その説明をどこかに入れるか、あるいは、福祉政策課の意見のようにストレートに認知度だけの質問に変更するか。

3. 成年後見制度に関する実態把握調査票アンケート（関係団体調査）の対象者及び項目検討について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

*** 対象者については別紙のとおり障害・高齢分野で考えております。**

*** 関係機関の成年後見制度への関わりや現状把握また、後見制度利用には至らない判断能力が不安な方への支援を行っている場合には、相談内容はどのようなものか、今後包括的な相談支援体制を拡充していく際の課題把握のための項目となっています。**

●基本情報の問 1・3 について

- ・回答者が相談支援事業者の場合、一般相談のケースでは成年後見制度に関する相談を受けたことがある場合と、計画相談やケアプラン作成をしている相談者が制度を利用しているケースを受ける場合と判断しにくいのではないかと。どちらも入れる必要があると思うが、対象を明確にするか質問内容を整理したほうがよい。

●基本情報の問 4 について

- ・問 4 の設問後、後見人がついた本人から後見についての相談を受けたことがあるかを追加してほしい。または、問 1 のケースを受けたことがあるかの問の後に誰からの相談であったかがわかるような質問を追記してほしい。

●調査事項の問 1 について

- ・該当する方を「要支援者」としているが、介護保険事業所の場合、認定の「要支援者」と混同する場合も万が一あるかもしれないので「支援対象者」等に変えた方がよいのではないかと。
- ・調査事項の問 2 については発達障害がある方も入れた方がよいのではないかと。

●調査事項の問 6 - 2 について

- ・相談時または把握した時点で誰から金銭管理支援を受けていたかとあるが、日常的な金銭管理から預貯金等の財産管理まで幅があるので一応両方を記載したほうがよい。また、この質問と同じように、サービスの利用契約、サービスの利用計画の確認等身上監護に関することを誰が行なっていたかであってもよい。

●調査事項の間7-2について

- ・「成年後見制度にネガティブな印象を持っていたから」という理由を追記してもよい。当職が研修を行う予定の障害者支援事業所の一部には、「成年後見制度は本人にメリットがない」「成年後見制度は本人の権利を十分実現できない」「本人の支援は自分たち(支援者)が一番よく分かっている」などの理由で成年後見制度の利用に疑問を抱いているところもあると聞いたため。

●対象者について

- ・施設では誰が回答するのか？（施設長、ケアマネ、相談員など）記入をしておいた方がよい。また、各機関で1人なのか、複数なのか？
病院やクリニックの相談員さんも入れても面白いかな。

●その他

- ・1年間の延べ人数だと、計算などの業務が大変であり、曖昧になりやすい。この1ヵ月、4月1日現在の担当ケースのうちなどとした方が、正確で回答者の負担が少なく、回答率も上がるかな。

4. 本市の中核機関設置に関する状況について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

***別紙資料「茅ヶ崎市中核機関の5つの機能検討結果」は市・市社協・Sネットで話した内容となっております。どの部分をどこまで強化すべきか、とくに多機関が連携する相談支援体制のあり方について事例等でイメージがあればご意見ください。**

●①広報機能について

- ・①広報機能では、単なる周知や広報のみではなく、制度が必要な人の早期発見の仕組みづくりとして医療・介護・福祉の多機関や地域住民や民間事業所も含めた取り組みの強化が必要ではないか。
- ・成年後見ネットワーク勉強会の延長線上としてチーム支援体制の構築を進めることが当面の取り組みになると思います。制度が必要な人に関わる既存のチーム、また新規で組織するチームなどケースにより検討することが必要ではないか。

●③利用促進機能について

- ・受任候補者の選定などマッチングを専門職、専門職団体と協力してどのように進めていくかも課題である。
- ・現在のところ差し迫った課題ではありませんが、今後の多様な受任体制を整備する上で、法人後見受任団体の育成・支援を入れる必要がある。

●④後見人支援機能について

- ・④後見人支援機能として、市民後見人の受任後の活動サポート体制の構築も必要である。

●⑤不正防止効果について

- ・数年後の課題になると思うが、モニタリング機能として被後見人との信頼関係を維持できない後見人の交代等を視野に入れておく必要がある。

●その他

- ・医療関係機関の位置づけについても記載があると良い。